

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道202号 福岡外環状道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 2.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 3,564億円)
	事業実施環境	■ ルート確定済	都市計画決定 (一般部) : 昭和44年5月、都市計画決定 (自専部) : 平成4年8月
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	平成20年度的全線暫定供用予定

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 3,445.8万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 68.0万人・時間/年 (3,445.8万人・時間/年 ⇒ 3,377.8万人・時間/年)
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	(主) 大野城二丈線の混雑時旅行速度の改善見込み : 13.5km/h ⇒ 18.4km/h ※センサス区間 : 4014、4015、4017を対象 (H17年度供用前後における旅行速度結果 (実測値) より)
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	福岡大学周辺～福岡空港のアクセス向上 : 52分 ⇒ 25分 ※都市高速利用時 (実測値より)
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
	□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		<input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	福岡外環状道路	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる		
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である		
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	(主)大野城二丈線の交通量等 自転車交通量：1,165台/12h、自動車交通量：12,179台/12h、歩行者交通量：693人/12h ※H17センサス値(センサス区間：4014、4015、4016、4017、4018、4019、34019、34087の延長による加重平均)
			<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する				
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	糸島地域から福岡大学病院への救急搬送時間：24分⇒18分		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	福岡都市高速が通行止めになった場合の代替路線を形成
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：46,700t/年（1,910,048t/年⇒1,863,348t/年） ※区間aについて
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出削減量：175t/年（8,733t/年⇒8,559t/年） ※単位未満四捨五入 ※区間aについて
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出削減量：17t/年（795t/年⇒779t/年） ※単位未満四捨五入 ※区間aについて
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	福岡都市高速道路の整備事業と一体的に整備する必要あり
		<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	「新・基本計画」（H15.3福岡市）に位置づけられている
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道202号	福岡外環状道路 (一般部)	L=16.20 km	高規格C	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,500~52,400	4/4	九州地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	1,915億円	132億円	2,047億円
うち残事業分	227億円	173億円	400億円
基準年における 現在価値(C)	2,464億円	84億円	2,548億円
うち残事業分	200億円	82億円	282億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成18年度			
供用年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	60億円	3億円	0億円	63億円
基準年における 現在価値 (B)	5,579億円	392億円	141億円	6,112億円
うち残事業分	3,410億円	222億円	95億円	3,727億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	2.4
費用便益比 (残事業)	13.2

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	20,500~52,400	±10%	11.9~14.5
事業費	227億円	±10%	12.3~14.2
事業期間	2年	±20%	12.9~13.6
割引率	—	—	—

交通状況の変化

事業名：福岡外環状道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 16.2km	交通量	[台/日]	0	32,400	
	走行時間	[分]	0	36	
	走行時間費用	[億円/年]	0	304	
②主な周辺道路	現道(国道202号) : 10.1km	交通量	[台/日]	39,800	36,400
		走行時間	[分]	26	25
		走行時間費用	[億円/年]	268	227
	(主)大野城二丈線 : 15.6km	交通量	[台/日]	13,000	9,000
		走行時間	[分]	53	45
		走行時間費用	[億円/年]	187	110
	(都)清水干隈線 : 9.1km	交通量	[台/日]	33,900	28,500
		走行時間	[分]	34	28
		走行時間費用	[億円/年]	232	163
	(県)桧原比恵線 : 6.6km	交通量	[台/日]	17,100	14,000
		走行時間	[分]	23	20
		走行時間費用	[億円/年]	101	70
	その他道路 : 111.5km	交通量	[台/日]	33,400	12,000
		走行時間	[分]	271	252
		走行時間費用	[億円/年]	2,011	1,607
③その他道路合計 : 990.7km	走行時間費用	[億円/年]	8,918	8,799	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,159.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,717	11,280	437

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

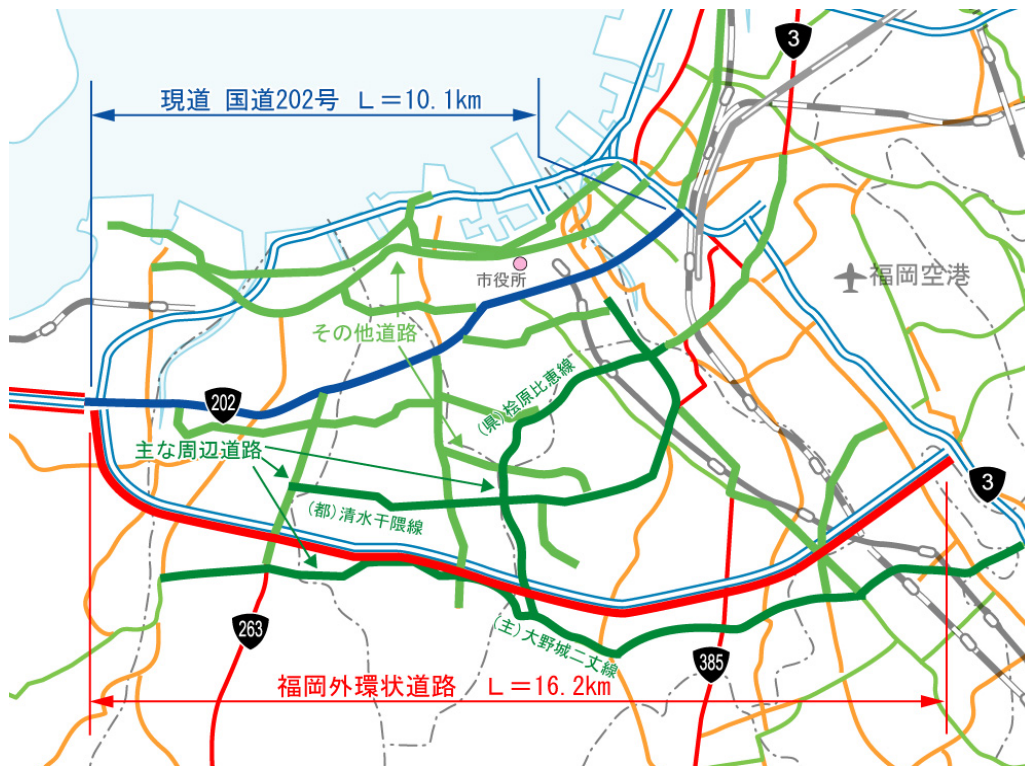
※ 1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：福岡外環状道路（事業全体）



交通状況の変化

事業名：福岡外環状道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 16.2km	交通量	[台/日]	9,300	32,400	
	走行時間	[分]	29	36	
	走行時間費用	[億円/年]	108	304	
②主な周辺道路	現道(国道202号) : 10.1km	交通量	[台/日]	38,100	36,400
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	245	227
	(主)大野城二丈線 : 15.6km	交通量	[台/日]	12,000	9,000
		走行時間	[分]	50	45
		走行時間費用	[億円/年]	163	110
	(都)清水干隈線 : 9.1km	交通量	[台/日]	30,300	28,500
		走行時間	[分]	30	28
		走行時間費用	[億円/年]	184	163
	(県)桧原比恵線 : 6.6km	交通量	[台/日]	16,900	14,000
		走行時間	[分]	22	20
		走行時間費用	[億円/年]	97	70
	その他道路 : 111.5km	交通量	[台/日]	30,900	12,000
		走行時間	[分]	264	252
		走行時間費用	[億円/年]	1,837	1,607
③その他道路合計 : 990.7km	走行時間費用	[億円/年]	8,929	8,799	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,159.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,563	11,280	283

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

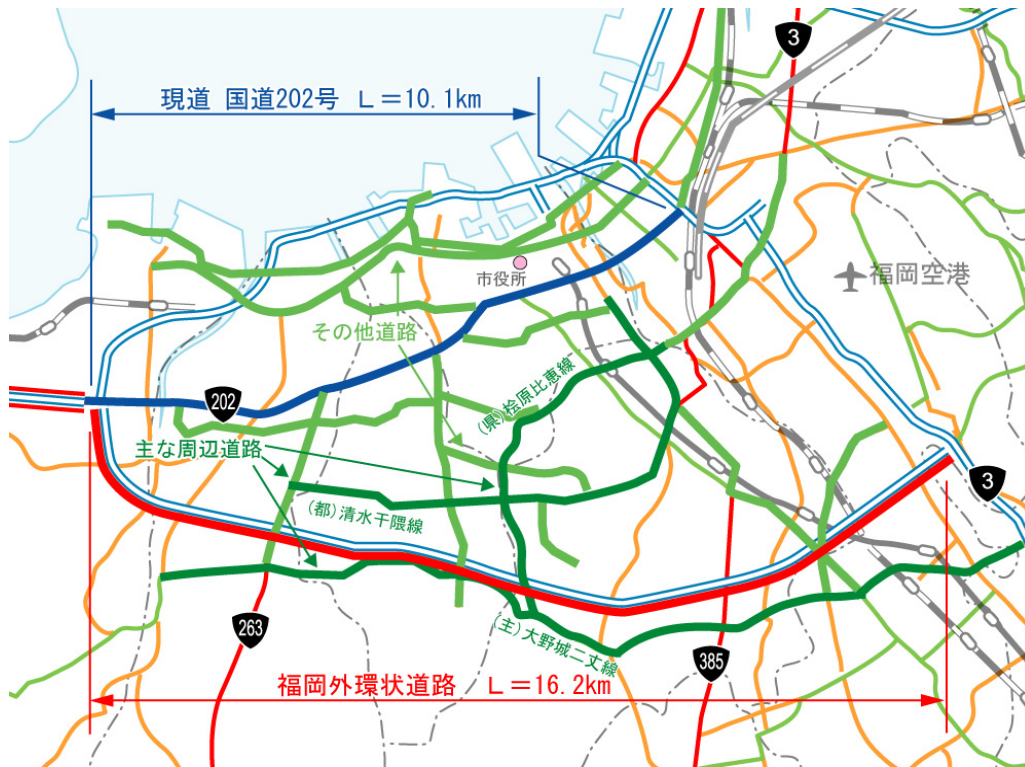
※1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：福岡外環状道路（残事業）



費用便益分析の条件

事業名： 一般国道202号 福岡外環状道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他	<input type="checkbox"/>		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成18年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>	
		複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
		有	<input type="checkbox"/>	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法	<input type="checkbox"/>	
		簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
			山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>		
	その他()	<input type="checkbox"/>		

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

【全体事業】

箇所名: 一般国道202号福岡外環状道路(一般部)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	16.22	4.17

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H -15	3.6484	0	1		
-22年目	H -14	3.5081	0	1		
-21年目	H -13	3.3731	0	1		
-20年目	H -12	3.2434	0	0		
-19年目	H -11	3.1187	2	5		
-18年目	H -10	2.9987	2	7		
-17年目	H -9	2.8834	3	7		
-16年目	H -8	2.7725	3	7		
-15年目	H -7	2.6658	3	7		
-14年目	H -6	2.5633	6	15		
-13年目	H -5	2.4647	5	11		
-12年目	H -4	2.3699	5	11		
-11年目	H -3	2.2788	5	11		
-10年目	H -2	2.1911	6	13		
-9年目	H -1	2.1068	11	24		
-8年目	H 0	2.0258	35	70		
-7年目	H 1	1.9479	59	115		
-6年目	H 2	1.8730	58	108		
-5年目	H 3	1.8009	101	181		
-4年目	H 4	1.7317	137	237		
-3年目	H 5	1.6651	156	260		
-2年目	H 6	1.6010	115	184		
-1年目	H 7	1.5395	105	162		
供用開始年次	H 8	1.4802	79	117	1	2
1年目	H 9	1.4233	66	94	1	1
2年目	H 10	1.3686	63	86	1	1
3年目	H 11	1.3159	75	99	1	1
4年目	H 12	1.2653	91	115	1	1
5年目	H 13	1.2167	61	74	1	1
6年目	H 14	1.1699	129	150	1	1
7年目	H 15	1.1249	96	108	1	1
8年目	H 16	1.0816	64	69	1	1
9年目	H 17	1.0400	88	91	1	1
10年目	H 18	1.0000	62	62	3	3
11年目	H 19	0.9615	89	86	3	3
12年目	H 20	0.9246	87	80	3	3
13年目	H 21	0.8890			4	4
14年目	H 22	0.8548			4	4
15年目	H 23	0.8219			4	3
16年目	H 24	0.7903			4	3
17年目	H 25	0.7599			4	3
18年目	H 26	0.7307			4	3
19年目	H 27	0.7026	13	9	4	3
20年目	H 28	0.6756	13	9	4	3
21年目	H 29	0.6496	13	8	4	3
22年目	H 30	0.6246	13	8	4	3
23年目	H 31	0.6006			4	3
24年目	H 32	0.5775			4	2
25年目	H 33	0.5553			4	2
26年目	H 34	0.5339			4	2
27年目	H 35	0.5134			4	2
28年目	H 36	0.4936			4	2
29年目	H 37	0.4746			4	2
30年目	H 38	0.4564			4	2
31年目	H 39	0.4388			4	2
32年目	H 40	0.4220			4	2
33年目	H 41	0.4057			4	2
34年目	H 42	0.3901			4	2
35年目	H 43	0.3751			4	2
36年目	H 44	0.3607			4	2
37年目	H 45	0.3468			4	1
38年目	H 46	0.3335			4	1
39年目	H 47	0.3207	-754	-242	4	1
合計			1,161	2,464	132	84
単純事業費計			1,915		132	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

【残事業】

箇所名：一般国道202号福岡外環状道路(一般部)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	16.22	4.17

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-2年目	H 19	0.9615	89	86	3	3
-1年目	H 20	0.9246	87	80	3	3
供用開始年次	H 21	0.8890			4	4
1年目	H 22	0.8548			4	4
2年目	H 23	0.8219			4	3
3年目	H 24	0.7903			4	3
4年目	H 25	0.7599			4	3
5年目	H 26	0.7307			4	3
6年目	H 27	0.7026	13	9	4	3
7年目	H 28	0.6756	13	9	4	3
8年目	H 29	0.6496	13	8	4	3
9年目	H 30	0.6246	13	8	4	3
10年目	H 31	0.6006			4	3
11年目	H 32	0.5775			4	2
12年目	H 33	0.5553			4	2
13年目	H 34	0.5339			4	2
14年目	H 35	0.5134			4	2
15年目	H 36	0.4936			4	2
16年目	H 37	0.4746			4	2
17年目	H 38	0.4564			4	2
18年目	H 39	0.4388			4	2
19年目	H 40	0.4220			4	2
20年目	H 41	0.4057			4	2
21年目	H 42	0.3901			4	2
22年目	H 43	0.3751			4	2
23年目	H 44	0.3607			4	2
24年目	H 45	0.3468			4	1
25年目	H 46	0.3335			4	1
26年目	H 47	0.3207			4	1
27年目	H 48	0.3083			4	1
28年目	H 49	0.2965			4	1
29年目	H 50	0.2851			4	1
30年目	H 51	0.2741			4	1
31年目	H 52	0.2636			4	1
32年目	H 53	0.2534			4	1
33年目	H 54	0.2437			4	1
34年目	H 55	0.2343			4	1
35年目	H 56	0.2253			4	1
36年目	H 57	0.2166			4	1
37年目	H 58	0.2083			4	1
38年目	H 59	0.2003			4	1
39年目	H 60	0.1926			4	1
合計			227	200	173	82

単純事業費計	227	173
--------	-----	-----

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本として設定。

便益の現在価値算定表

【全体事業】

箇所名: 一般国道202号 福岡外環状道路(一般部)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 8	0.95734	1.01622	0.97793	1.4802	32	8	12	9	60	89	1	0	1	1	3	4	0	0	63	94
1年目	H 9	0.95909	1.01648	0.97841	1.4233	33	9	11	9	62	88	1	0	1	1	3	4	0	0	65	92
2年目	H 10	0.96069	1.01676	0.97886	1.3686	35	9	11	8	63	86	2	0	1	1	3	4	0	0	66	91
3年目	H 11	1.00000	1.00000	1.00000	1.3159	36	9	11	8	65	85	2	0	1	1	3	4	0	0	68	89
4年目	H 12	1.01340	0.99819	1.00847	1.2653	36	10	11	8	65	82	2	0	1	1	3	4	0	0	68	87
5年目	H 13	1.01322	0.99819	1.00840	1.2167	37	10	11	8	66	80	2	0	1	1	3	4	0	0	69	84
6年目	H 14	1.01305	0.99819	1.00833	1.1699	37	10	11	8	66	78	2	0	1	1	3	4	0	0	70	82
7年目	H 15	1.01288	0.99818	1.00826	1.1249	38	10	11	8	67	75	2	0	1	1	3	4	0	0	70	79
8年目	H 16	1.01272	0.99818	1.00820	1.0816	38	10	11	8	67	73	2	0	1	1	3	4	0	0	71	77
9年目	H 17	1.01256	0.99818	1.00813	1.0400	39	10	11	8	68	71	2	0	1	1	3	3	0	0	71	74
10年目	H 18	1.01240	0.99817	1.00806	1.0000	56	14	18	13	102	102	4	0	3	2	9	9	2	2	113	113
11年目	H 19	1.01225	0.99817	1.00800	0.9615	57	14	18	13	103	99	4	0	3	2	9	9	2	2	114	110
12年目	H 20	1.01210	0.99817	1.00794	0.9246	58	14	18	13	103	96	4	1	3	2	9	9	2	2	115	106
13年目	H 21	1.01196	0.99816	1.00787	0.8890	85	21	26	19	151	134	7	1	4	3	16	14	3	2	169	150
14年目	H 22	1.01182	0.99816	1.00781	0.8548	86	21	26	19	152	130	7	1	4	3	16	13	3	2	170	146
15年目	H 23	1.00781	0.99865	1.00515	0.8219	86	22	26	19	153	126	7	1	4	3	16	13	3	2	171	141
16年目	H 24	1.00775	0.99865	1.00512	0.7903	87	22	26	19	154	121	7	1	4	3	16	12	3	2	172	136
17年目	H 25	1.00769	0.99865	1.00510	0.7599	88	22	26	19	154	117	7	1	4	3	16	12	3	2	173	131
18年目	H 26	1.00763	0.99865	1.00507	0.7307	88	22	26	19	155	113	7	1	4	3	16	12	3	2	174	127
19年目	H 27	1.00757	0.99865	1.00504	0.7026	89	22	26	19	156	110	8	1	4	3	16	11	3	2	175	123
20年目	H 28	1.00751	0.99865	1.00502	0.6756	90	22	26	19	157	106	8	2	4	3	16	11	3	2	175	119
21年目	H 29	1.00746	0.99864	1.00499	0.6496	90	23	26	19	157	102	8	1	4	3	16	10	3	2	176	115
22年目	H 30	1.00740	0.99864	1.00497	0.6246	91	23	25	19	158	99	8	1	4	3	16	10	3	2	177	111
23年目	H 31	1.00735	0.99864	1.00494	0.6006	241	38	85	72	437	263	12	1	7	8	27	16	15	9	479	288
24年目	H 32	1.00729	0.99864	1.00492	0.5775	243	38	85	72	439	254	12	1	7	7	27	16	15	9	481	278
25年目	H 33	1.00157	0.99595	1.00004	0.5553	244	38	85	72	439	244	12	1	7	7	27	15	15	8	481	267
26年目	H 34	1.00157	0.99594	1.00004	0.5339	244	38	85	72	439	234	12	1	7	7	27	15	15	8	481	257
27年目	H 35	1.00156	0.99592	1.00004	0.5134	244	38	84	71	438	225	12	1	7	7	27	14	15	8	481	247
28年目	H 36	1.00156	0.99590	1.00004	0.4936	245	39	84	71	438	216	12	1	7	7	27	13	15	7	480	237
29年目	H 37	1.00156	0.99589	1.00004	0.4746	245	39	84	71	438	208	12	1	7	7	27	13	15	7	480	228
30年目	H 38	1.00156	0.99587	1.00004	0.4564	245	39	83	70	438	200	12	1	7	7	27	12	15	7	480	219
31年目	H 39	1.00156	0.99585	1.00004	0.4388	246	39	83	70	438	192	12	1	7	7	27	12	15	7	480	210
32年目	H 40	1.00155	0.99584	1.00004	0.4220	246	39	83	70	437	185	12	1	7	7	27	11	15	6	479	202
33年目	H 41	1.00155	0.99582	1.00004	0.4057	247	39	82	70	437	177	12	1	7	7	27	11	15	6	479	194
34年目	H 42	1.00155	0.99580	1.00004	0.3901	247	39	82	69	437	170	12	1	7	7	27	11	15	6	479	187
35年目	H 43	0.99690	0.99472	0.99633	0.3751	246	39	81	69	435	163	12	1	7	7	27	10	15	6	477	179
36年目	H 44	0.99689	0.99469	0.99632	0.3607	245	39	81	69	434	156	12	1	7	7	27	10	15	5	475	171
37年目	H 45	0.99688	0.99467	0.99630	0.3468	245	39	81	68	432	150	12	1	7	7	27	9	15	5	473	164
38年目	H 46	0.99687	0.99464	0.99629	0.3335	244	38	80	68	430	143	12	1	7	7	27	9	15	5	471	157
39年目	H 47	0.99686	0.99461	0.99628	0.3207	243	38	80	67	429	137	12	1	7	7	26	8	15	5	470	151
合計						5,573	1,012	1,828	1,505	9,919	5,579	309	25	174	171	679	392	286	141	10,885	6,112

便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名： 一般国道202号 福岡外環状道路(一般部)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 21	1.01196	0.99816	1.00787	0.8890	29	7	9	7	51	45	4	0	2	2	8	7	0	0	59	53
1年目	H 22	1.01182	0.99816	1.00781	0.8548	29	7	9	7	51	44	4	0	2	2	8	7	0	0	60	51
2年目	H 23	1.00781	0.99865	1.00515	0.8219	29	7	9	7	52	42	4	0	2	2	8	7	0	0	60	49
3年目	H 24	1.00775	0.99865	1.00512	0.7903	29	7	9	7	52	41	4	0	2	2	8	6	0	0	60	48
4年目	H 25	1.00769	0.99865	1.00510	0.7599	30	7	9	7	52	40	4	0	2	2	8	6	0	0	61	46
5年目	H 26	1.00763	0.99865	1.00507	0.7307	30	7	9	7	52	38	4	0	2	2	8	6	0	0	61	45
6年目	H 27	1.00757	0.99865	1.00504	0.7026	30	7	9	6	53	37	4	0	2	2	8	6	0	0	61	43
7年目	H 28	1.00751	0.99865	1.00502	0.6756	30	7	9	6	53	36	4	0	2	2	8	6	0	0	62	42
8年目	H 29	1.00746	0.99864	1.00499	0.6496	31	8	9	6	53	35	4	0	2	2	8	5	0	0	62	40
9年目	H 30	1.00740	0.99864	1.00497	0.6246	31	8	9	6	54	33	4	0	2	2	8	5	0	0	62	39
10年目	H 31	1.00735	0.99864	1.00494	0.6006	156	25	55	47	283	170	7	0	4	4	15	9	9	5	307	184
11年目	H 32	1.00729	0.99864	1.00492	0.5775	158	25	55	47	285	164	7	0	4	4	15	9	9	5	308	178
12年目	H 33	1.00157	0.99595	1.00004	0.5553	158	25	55	47	284	158	7	0	4	4	15	8	9	5	308	171
13年目	H 34	1.00157	0.99594	1.00004	0.5339	158	25	55	46	284	152	7	0	4	4	15	8	9	5	308	165
14年目	H 35	1.00156	0.99592	1.00004	0.5134	158	25	55	46	284	146	7	0	4	4	15	8	9	4	308	158
15年目	H 36	1.00156	0.99590	1.00004	0.4936	159	25	54	46	284	140	7	0	4	4	15	8	9	4	308	152
16年目	H 37	1.00156	0.99589	1.00004	0.4746	159	25	54	46	284	135	7	0	4	4	15	7	9	4	308	146
17年目	H 38	1.00156	0.99587	1.00004	0.4564	159	25	54	46	284	130	7	0	4	4	15	7	9	4	308	140
18年目	H 39	1.00156	0.99585	1.00004	0.4388	159	25	54	46	284	124	7	0	4	4	15	7	9	4	307	135
19年目	H 40	1.00155	0.99584	1.00004	0.4220	160	25	54	45	284	120	7	0	4	4	15	6	9	4	307	130
20年目	H 41	1.00155	0.99582	1.00004	0.4057	160	25	53	45	283	115	7	0	4	4	15	6	9	4	307	125
21年目	H 42	1.00155	0.99580	1.00004	0.3901	160	25	53	45	283	111	7	0	4	4	15	6	9	3	307	120
22年目	H 43	0.99690	0.99472	0.99633	0.3751	160	25	53	45	282	106	7	0	4	4	15	6	9	3	306	115
23年目	H 44	0.99689	0.99469	0.99632	0.3607	159	25	53	44	281	101	7	0	3	4	15	5	9	3	305	110
24年目	H 45	0.99688	0.99467	0.99630	0.3468	159	25	52	44	280	97	7	0	3	4	15	5	9	3	303	105
25年目	H 46	0.99687	0.99464	0.99629	0.3335	158	25	52	44	279	93	7	0	3	4	15	5	9	3	302	101
26年目	H 47	0.99686	0.99461	0.99628	0.3207	158	25	52	44	278	89	7	0	3	4	15	5	8	3	301	97
27年目	H 48	0.99685	0.99458	0.99626	0.3083	157	25	51	44	277	85	7	0	3	4	15	5	8	3	300	92
28年目	H 49	0.99684	0.99455	0.99625	0.2965	157	25	51	43	276	82	7	0	3	4	15	4	8	2	299	89
29年目	H 50	0.99683	0.99452	0.99623	0.2851	156	25	51	43	275	78	7	0	3	4	15	4	8	2	298	85
30年目	H 51	0.99682	0.99449	0.99622	0.2741	156	25	51	43	273	75	7	0	3	4	15	4	8	2	296	81
31年目	H 52	0.99681	0.99446	0.99621	0.2636	155	24	50	43	272	72	7	0	3	4	14	4	8	2	295	78
32年目	H 53	0.99634	0.99695	0.99650	0.2534	155	24	50	42	271	69	7	0	3	4	14	4	8	2	294	75
33年目	H 54	0.99632	0.99695	0.99648	0.2437	154	24	50	42	270	66	7	0	3	4	14	4	8	2	293	71
34年目	H 55	0.99631	0.99694	0.99647	0.2343	153	24	50	42	270	63	7	0	3	4	14	3	8	2	292	68
35年目	H 56	0.99630	0.99693	0.99646	0.2253	153	24	50	42	269	61	7	0	3	4	14	3	8	2	291	66
36年目	H 57	0.99628	0.99692	0.99645	0.2166	152	24	50	42	268	58	7	0	3	4	14	3	8	2	290	63
37年目	H 58	0.99627	0.99691	0.99643	0.2083	152	24	49	42	267	56	7	0	3	4	14	3	8	2	289	60
38年目	H 59	0.99625	0.99690	0.99642	0.2003	151	24	49	42	266	53	7	0	3	4	14	3	8	2	288	58
39年目	H 60	0.99625	0.99690	0.99642	0.2003	151	24	49	42	265	51	7	0	3	4	14	3	8	2	287	55
合計						4,995	814	1,650	1,389	8,847	3,410	246	16	126	137	525	222	258	95	9,630	3,727